

## 6年連続で23区最少

# ごみ排出量が過去最少の474グラムを記録

平成28年度の「杉並区の区民一人1日あたりのごみ排出量」は、474グラムとなり、6年連続で23区最少。昨年度の490グラムから16グラムのマイナスとなり過去最少となりました。

現在、23区が利用できるごみの最終処分場は中央防波堤埋立地のみで、その寿命は50年あまりと言われていています。こうしたことから、ごみの分別の徹底や資源化に取り組んで、家庭から出るごみの量を減らし、資源循環型社会を形成することが必要不可欠です。

そこで、杉並区では食品ロスを削減するために、今年度「杉並もったいない運動」を展開していくこととしています。家庭から排出された未利用食品の発生を抑えるために、新たに「フードドライブ」を実施するなど、食品ロスの削減に向けた取組を進め、さらなるごみの減量を目指しています。

また、28年11月からは、ごみの分別ルールを知ることができるスマートフォン向けアプリケーション「なみすけのごみ出し達人（マスター）」の英語、中国語（簡体）、韓国語・朝鮮語でも配信を始め、年々増加している外国人居住者にも杉並のごみ出しルールの周知に努めています。

6月13日、東京二十三区清掃一部事務組合が平成28年度のごみ収集量を発表しました。その結果、杉並区の区民一人1日あたりのごみ排出量は474グラムとなり、6年連続で23区最少を記録しました。ごみの減量は、区民や事業者の協力なくして成し得ません。今後とも、引き続き区民への啓発・呼びかけを続けていきます。



### 【報道機関 問い合わせ先】

ごみ減量対策課 電話 03-3312-2111 内線 3721